

中1国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 90.0%

ねらい：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

分析と対策：(3)「針路」とは、船舶・航空機などの進む方向を意味します。「進路」と同じように使われることもあります。このように、漢字の読み書きだけでなく、意味も覚えるようにするとよいでしょう。

2 文節相互の関係 50.0%

ねらい：文節相互の関係が正しくとらえられているかを問う。

分析と対策：文を構成する文節の役割と、その相互の関係について確認する問題です。主語・述語・修飾語という概念は小学校で既出ですが、ここでは並立や補助など、さらに一歩進んだ相互関係まで出題しています。小学校の復習をかねて、しっかり理解するようにしてください。(2)「見学して一きました」の「きた」と、「学校に一きました」の「きた」との意味・働きの違いを考え、補助の働きとはどういうものかを理解してください。(3)並立の概念をしっかりと理解してください。並立の文節どうしであれば入れ換えが可能であるということを押さえましょう。

3 詩の鑑賞 54.0%

ねらい：表現技法など、詩を味わう上で必要な知識を問い、作者の表現の意図がきちんととらえられているかを問う。

分析と対策：散文に比べて、少ないことばで表現される詩の読み取りでは、一

つ一つのことばに対して、より細かな注意が必要とされます。(4)選んだ表現技法について、しっかりと理解しておいてください。**エ**は倒置法の説明になっていますが、⑫～⑯行目では倒置法は用いられていません。

4 文学的文章読解 75.3%

ねらい：文中の人物の会話や様子から心情をしっかりと把握できているかを問う。

分析と対策：この文章では、次女の乗り物酔いを克服しようと試行錯誤する場面が描かれています。父親である「私」が、次女を思いやる気持ちを読み取りましょう。(1)「青菜に塩」とは、青い菜っ葉に塩をかけると、しぼんでしまうことから、急に元気をなくしてしよげるさまを表すことわざです。ここでは、「家では一番のはしゃぎ屋」である次女が、乗り物に乗るとぐったりとして元気がなくなってしまうことを、ことわざを使って効果的に表現しています。

5 説明的文章読解 60.8%

ねらい：指示語の指示内容の把握など、説明的文章の読解の基礎がしっかりと身に付いているかを問う。

分析と対策：本文では、筆者が文章に対する考えを、料理になぞらえて説明しています。(4)「そういう混ざりもの」が指している直接の内容は、ご飯の中に入った「石」です。この「石」が何をたどっているのか読み取りましょう。

全体の平均点は67.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。